

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「超スマート社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

サイバー世界とフィジカル世界を結ぶモデリングと AI

3. 研究開発課題名

自然と調和する自律制御社会のための気象情報インフラ構築

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

大西 領(海洋研究開発機構 地球情報基盤センター グループリーダー)

5. 評価結果

活発な社会経済活動が行われる建物密集区域内の微気象予測を、AI 技術と組み合わせで高速化し、ドローンや各種 IoT センシング技術を用いてリアルタイムで実現しようとする点は挑戦的であり、実現した時の社会的インパクトは大きい。探索研究期間中に、MSSG の微気象シミュレーションと深層学習の融合による超解像シミュレーション技術を開発し、気温予測の 256 倍の高速化やさらなる性能向上が実現できることを示した点も高く評価された。

一方、社会実装に向けたシナリオの検討が十分ではなかった。開発した気象予測インフラについて、サービスの引き取り手との連携やその後の活用などについて、より具体的な計画や POC 達成後の社会実装に向けた道筋の明確化が求められる。

以上の結果、本研究開発課題は探索研究で終了となったが、研究開発は着実に進捗しており、今後の進展についても期待が持たれる。

以上